

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	政治と社会 (Politics and Society)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	映像作品で考える政治学:戦後の日本政治を考える編		
担当者名 (Instructor)	笠井 昭文(KASAI AKIFUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	法学部所属学生随意科目(卒業要件単位に含むことはできない)		

授業の目標(Course Objectives)

1. 政治学が扱ってきたテーマや政治思想を紹介しながら、戦後の日本政治の特徴とその問題点について考えていきたいと思えます。
2. 小レポートの作成と学生同士の相互評価を通じて、学生にとって必要となる基礎的な文章能力の向上を図ります。
3. 以上の目標を通じて、現代社会の諸問題について自ら考え、自分の言葉で表現しようとする人間を育てたいと思えます。

1) While introducing themes and political ideas handled by political science, this course aims to consider the characteristics of postwar Japanese politics and their problems. 2) Through writing reports and mutual evaluations between students, this course aims to strengthen the basic writing skills that are a necessity of every student. 3) Through the objectives described above, I would like to train people who can think on their own about various problems in modern society and who try to express their ideas in their own words.

授業の内容(Course Contents)

この講義は、政治を扱った映画を見る講義ではありません。また「楽単」と呼ばれるような講義ではありません。政治学の主要テーマや基本概念を理解するための補助線として映画を利用し、そうすることで現代社会が抱える様々な問題について考えていくタイプの講義です。

講義は、戦後の高度成長期、自民党において「田中派支配」と呼ばれる時代を作り上げた田中角栄の政治手法を確認することから始まります。その上で、自民党という政党の特徴と自民党政治の問題点について考察します。そのような自民党政治を、2000年代前半において新自由主義的立場から「構造改革」しようと試みたのが、小泉純一郎でした。その際、小泉はポピュリズム的な政治手法を用いましたので、ポピュリズムの特徴と問題点についても確認していきます。そして2012年以降になると、「安倍一強」と呼ばれる政治体制が成立しました。政権復帰後の自民党の変化とその問題についても整理していきたいと思えます。また、SNSを通じて各人が自らの考える「正しさ」を勝手に主張し合うことによって、何が真実なのか分からない「ポスト真実」と呼ばれるような時代が成立しています。情報のねつ造と事実の隠蔽、その結果、対立と分断、差別と排除が強まっていく「ポスト真実」の時代に対して、私たちはどのように向き合っていったら良いのか、この問題についても考えていきたいと思えます。

このように、現代社会を考える上で重要なテーマを取り上げていくことによって、学生自身の社会を見る眼を育てていくことが、この講義の目標です。また、自分で考え、書くことが求められる「出力」重視の講義です。得られる単位は2単位ですから、単位取得効率の点から言えば甚だ「燃費」の悪い講義ですが、ジャーナリストなど、自らの考えを深め、それを他者に伝えていく仕事を目指している人には良い訓練になると思えます。

This course is not a lecture to watch movies dealing with politics. Also, it is not a course where you can easily take credits. Rather, this is a type of lecture that uses movies as an auxiliary line to understand the main themes and basic concepts of political science, and by doing so, considers various problems in modern society.

The lecture begins by confirming the political method of Kakuei Tanaka, who created an era called "Tanaka-ha shihai" in the LDP during the postwar period of high economic miracle. After that, we will consider the characteristics of the LDP party and the problems of LDP politics. In the early 2000s, Junichiro Koizumi tried to reform such LDP politics from a neoliberal standpoint, so-called "Kouzou Kaikaku". At that time, Koizumi used a populist method to promote his reform. So, we will consider the characteristics and problems of populism. After 2012, a political system called "Abe ikkyou" was established. I would also like to sort out the changes in the LDP after the return to government and their problems. In addition, the era of "post-truth" has been established in which each person insists on their own "correctness" through SNS without knowing what is true. We also think about this issue as to how we should face the "post-truth" era of information forgery and fact concealment, resulting in increased conflict and division, or discrimination and exclusion. I would like to go.

In this way, the goal of this course is to nurture the eyes of students to see society through discussions on important themes in modern society. And this course emphasizes "output" that requires you to think and write for yourself. Since only two credits will be received, in terms of the efficiency of acquiring credits, this course has poor "fuel efficiency". But I think this course will be a good training for journalists and others who want to deepen their thoughts and convey them to others.

授業計画(Course Schedule)

1. 政治的恩顧主義と利益誘導型政治 F.F. Coppola監督『ゴッドファーザー』
2. 自民党議員と派閥、その激しい派閥抗争 F.F. Coppola監督『ゴッドファーザー』

3. 自民党政権の政策形成とその問題 F.F.コッポラ監督『ゴッドファーザー』
4. 日本における福祉国家建設と「日本型福祉社会」の問題 M.ハーマン監督『プラス！』
5. 新自由主義による福祉国家の見直しとその帰結 M.ハーマン監督『プラス！』
6. デモクラシーにとってポピュリズムとは何か A.パーカー監督『エビータ』
7. メディア戦略による劇場型政治の開幕 A.パーカー監督『エビータ』
8. 過剰な期待と急速な幻滅、その不毛な繰り返し A.パーカー監督『エビータ』
9. 「安倍一強」の成立とその内実 黒澤明監督『影武者』
10. 自民党の何が変わり、何が変わらなかったのか 黒澤明監督『影武者』
11. 情報の迷宮の中で見たいものだけを見続ける人々 J.J.アノー監督『薔薇の名前』
12. 「真理」を独占しようとする人と事実を探し求める人 J.J.アノー監督『薔薇の名前』
13. デモクラシーは人々の検証に未来を委ねる J.J.アノー監督『薔薇の名前』
14. 殻だけでなく翼をつけてあげる福祉へ S.ポッター監督『オランダ』

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

この講義では、文章を書き、書いた文章を学生同士で相互評価し合う課題が4回設定されています。まず、履修者は、講義レジュメの中で提示するテーマで小レポートを4回執筆しなければなりません。提出した小レポートは履修者全員に公開されますので、他人が読むことを前提にした文章を書く必要があります。次に、他の履修者のレポートを10枚ほど読んだ上で、レポート評価シートを2枚作成する作業も4回行います。作成したレポート評価シートはレポート執筆者の手に渡りますので、レポート内容を踏まえた、しっかりとしたコメントを書かねばなりません。

以上からもわかるように、他者に対して責任の取れる文章を書こうとする姿勢と、そのための執筆時間がこの講義では求められます。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(41%) / 講義で提示するテーマで小レポートを執筆、4回提出(40%) / 他の学生のレポートを読んだ上でレポート評価シートを作成、2通×4回提出(19%)

小レポート4回、レポート評価シート2枚×4回、すべての課題が提出されない限り、定期試験を受けても成績評価の対象とはなりません。

テキスト(Textbooks)

毎回、講義内容を概略したレジュメを配布します。

参考文献(Readings)

配布するレジュメや講義の中で随時紹介します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

このシラバスは、2022年1月現在、対面授業として行う前提で書いています。

注意事項(Notice)